



平成29年度決算報告 決算のあらましと市の財政状況

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)の決算についてお知らせします。 [問い合わせ](#) 財政課 ☎24・8144

■特別会計(5会計)の決算 (単位: 億円)

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険	121.0	118.7	2.3
介護保険	97.9	95.8	2.1
後期高齢者医療	13.9	13.6	0.3
産業団地	5.4	5.4	-
公債管理	84.1	84.1	-
合計	322.3	317.6	4.7

特別会計と企業会計

市の会計には、「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道などの民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

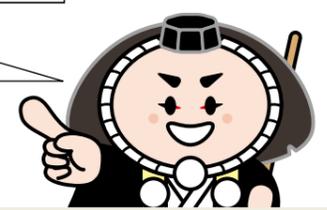
※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

■企業会計(3会計)の決算 (単位: 億円)

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	27.1	22.1	5.0	1.7	8.7	▲ 7.0
下水道	42.3	41.6	0.7	41.3	62.4	▲ 21.1
市民病院	85.3	84.6	0.7	6.2	11.6	▲ 5.4
合計	154.7	148.3	6.4	49.2	82.7	▲ 33.5

※収益的収支
1年間の営業結果を表します。

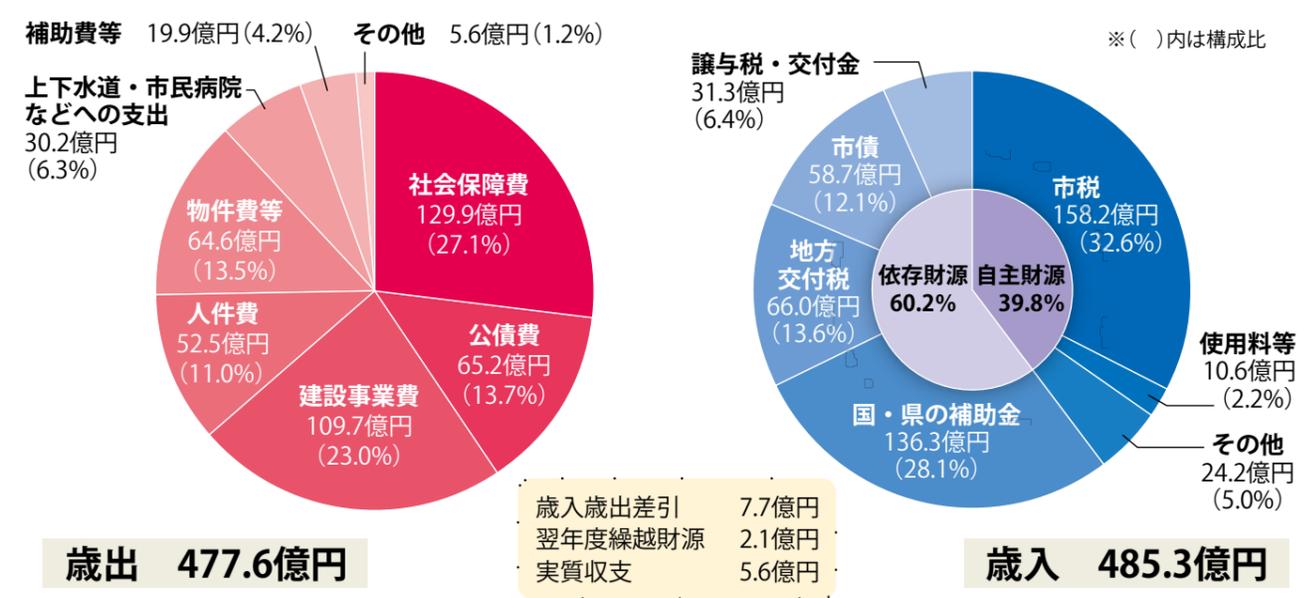
※資本的収支
施設の建設や整備に関する収支です。



決算の内容を更に詳しく知りたい人へ

平成29年度決算の内容を分かりやすくまとめた冊子「決算のあらまし」を作成しました。ご希望の場合は、財政課までご連絡ください。なお、市ホームページでもご覧になれます。

一般会計の決算



平成29年度決算の特徴

市税などの歳入

平成29年度は法人市民税、固定資産税などの市税のほか、国庫補助金、特別交付税の増額などにより、歳入全体として前年より約52・7億円の増額となりました。

未来への投資

歳出では、クリーンセンター整備のほか、公立小松大学の開学準備、認定こども園への移行推進、南加賀のターミナルに向けたJR小松駅周辺整備、企業との連携で進める観光・交流・人材育成施設の整備などを実施。人口減少克服などの将来課題への対応やグローバルな大交流時代の到来を成長・発展につなげるための様々な施策に取り組みました。

昨年度は32年ぶりの大雪への対応に係る経費もありましたが、効率的な予算執行と更なる固定費の削減に努めた結果、全体として約5・6億円の黒字決算となりました。

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (一般会計の赤字割合)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	12.1%	20%
連結実質赤字比率 (全会計を通じた赤字割合)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	17.1%	30%
実質公債費比率 (市の借金返済額の割合)	15.7%	15.6%	16.0%	25%	35%
将来負担比率 (市が抱えている負債の割合)	168.8%	164.9%	162.0%	350%	基準なし
資金不足比率 (企業会計の資金不足の割合)	なし (資金不足はありません)	なし (資金不足はありません)	なし (資金不足はありません)	経営健全化基準 20%	基準なし

健全化判断比率の状況

健全化判断比率については、全項目で国が定めた早期健全化基準・財政再生基準を下回りました。また、実質公債費比率は、国の基準統一の影響により上がったものの、将来負担比率は年々改善しています。今後も引き続き、健全な財政運営に努めます。

